

1. 事業名	地域女性活躍推進連携事業								
2. 実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日								
3. 事業の趣旨・目的	○意識改革(性別役割分業の固定的観念の打破) ○地域毎の効果的な施策の実施(都市部及び都市部以外での現状の違い及び意識の差について具体的な把握が必要) ○企業や地域団体等との連携								
4. 事業内容	①「みやぎの女性活躍促進連携会議」(本体会議・担当者会議)の運営(継続) 県内の経済団体、各種団体、行政等で構成する連携会議において、女性の活躍促進に関する事業について審議や評価を行った。また構成団体内での情報共有・情報交換を行い連携強化につなげるとともに、県内各地での女性活躍関係イベント等への後援を行う。 ②「みやぎの女性活躍促進連携会議」自主事業の実施(継続) 宮城県独自の企業認証政の認証を受けている企業等を対象としてシンポジウムを実施。 ③「みやぎの女性活躍促進サポーター」養成事業(継続) 研修受講者をサポーターとして認定し、女性活躍に関する正しい理解の共有と啓発、地域における普及啓発を担うリーダーを育成するための研修及び交流会を実施。 ④女性活躍ネットワーク事業(継続) 地域に根ざして女性支援等を行っている、「みやぎの女性活躍促進拠点づくりモデル事業(H29～R1)」で掘り起こしたNPO等6団体のネットワーク化と連携を支援し、男女共同参画を推進するための拠点化を進める。各団体の連携・支援の一環として、県と各団体との主催によるセミナー・研修会等(年3回程度)を開催し、市町村とも連携しながら、県内全域における男女共同参画の普及や女性活躍推進のための気運醸成を図ったもの。 ⑤女性にやさしい職場環境づくりモデル事業 女性の働きやすい環境整備などに積極的に取り組んでいる企業に対し、社会保険労務士などのアドバイザーを派遣し、社内規定の整備や、各種認証取得に向けた伴走的支援を行うもの。								
5. 事業効果及び効果検証の概要	①「みやぎの女性活躍促進連携会議」の運営(継続) 会議の自主事業の説明と併せて、構成団体との意見交換会を実施。 ②「みやぎの女性活躍促進連携会議」自主事業の実施(継続) シンポジウムを実施し、「女性のチカラを活かす企業認証制度」で認証を受けている企業の中で、特に優れた取り組みを行っている企業に対して、知事表彰状を贈呈した。そのほか、講師を招聘し講演を実施した。 ③「みやぎの女性活躍促進サポーター」養成事業(継続) サポーター養成事業については、男女共同参画や女性活躍推進に係る気運醸成の機会とし、県全体の底上げを図るため、男女共同参画基本計画が未策定である自治体(3町)において研修会を行った。また、交流会により、サポーター同士や女性活躍ネットワーク事業の構成団体等との交流や親睦の支援を行うことで、女性活躍推進の更なる醸成が図られた。 ④女性活躍ネットワーク事業(継続) みやぎの女性活躍促進拠点モデル事業(H29～R1)の受託団体を始めとした、各地域に根ざして男女共同参画や女性活躍推進に関する活動を行っている団体・組織(以下、拠点)について、拠点間の連携を図るとともに、県と各拠点同士の連携に市町村から共催として協力を得てセミナーを開催し、住民に身近な地元レベルから、男女共同参画や女性活躍推進の県内全域における気運醸成を図られた。 ⑤女性にやさしい職場環境づくりモデル事業 アドバイザーを派遣した企業数、派遣回数、認証取得の状況等を分析した。その結果、認証取得、社内規定の改定などが実施されていることが確認できた。								
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	①女性の登用率など、各団体の抱える課題について意見交換を行うことで、見聞や知見を深めることができた。 ②講師2名を招聘し、クロストークでの進行により、よりテーマを深掘りして内容でシンポジウムを実施することができた。 ③男女共同参画推進計画を作成して間もない市町村でセミナーを実施することを目標として行い、参加者からのアンケート結果では概ね好評であった。 ④各地で滞りなくセミナーを開催することができ、参加者からのアンケート結果では概ね好評であった。 ⑤宮城県独自の取組「女性のチカラを活かす企業認証」の申請に結びつけることができ、15社中11社から申請を受理した。								
7. 今後の課題	②の自主事業については、企業等からの参加者のほか、一般の方にリーチできるような仕掛けが必要である。広報の仕方や開催時期についても検討の余地があると考ええる。 ③のサポーター養成事業については、都市部以外の地域では、講演会や研修会などの機会が極端に少ない。このため、「女性活躍推進」に関して見聞きする機会が少なく、そのような意識や考え方が全体的に浸透していない状況である。宮城県では男女共同参画基本計画の策定していない市町村もまだあることから、③の研修会を仙台市以外で実施し、県内全域における底上げを図る必要がある。 都市圏においては、「女性活躍推進」の理解や活動・取組が浸透しているが、地方においては言葉すら浸透していない現状もあり、今後とも重点的に地方において事業を実施することにより、引き続き「女性活躍推進」の裾野を広げていきたい。 ④の女性活躍ネットワーク事業は各団体間、県と各団体との本格的連携の一環として、イベント等を両者の主催により実施し、地域に密着して活動している各拠点との連携により、地域レベルから男女共同参画や女性活躍推進に関する理解普及を図ることができた。各団体間におけるマンパワーや企画運営の経験など少なからず差異が見受けられるため、連携を深めていくことにより、団体相互の組織力の向上を図っていくことが重要と考える。 ⑤については、認証取得など、数値で分かる形で結果が得られたので、今後も女性が働きやすい会社を増やしていくために、継続して事業を実施することが重要である。								
8. 事業の実施体制	「みやぎの女性活躍促進連携会議」構成団体(15団体):(一社)宮城県経営者協会、(公財)せんだい男女共同参画財団、宮城県町村会、仙台経済同友会、仙台市、NPO法人イコールネット仙台、日本労働組合総連合会宮城県連合会、宮城県漁業協同組合、宮城県商工会議所連合会、宮城県商工会連合会、宮城県中小企業家同友会、宮城県中小企業団体中央会、宮城県農業協同組合中央会、宮城労働局、宮城県								
9. 経費の内訳	(単位:円)								
事業番号	個別事業名	公募要領の取組例	予算措置年度	交付決定事業	総事業費(A=B+C+D)	本交付金(B)	他の寄付金等(C)	自己資金(D)	備考
1	「みやぎの女性活躍促進連携会議」の運営・自主事業	2(1)	4年度補正予算	4年度補正予算	448,648	224,000		224,648	
2	みやぎの女性活躍促進サポーター養成事業	2(1)	4年度補正予算	4年度補正予算	2,634,867	1,317,000		1,317,867	
3	女性活躍ネットワーク事業	2(1)	4年度補正予算	4年度補正予算	913,363	457,000		456,363	
5	女性にやさしい職場環境づくりモデル事業	2(1)	4年度補正予算	4年度補正予算	8,156,060	4,070,000		4,086,060	
	合計				12,152,938	6,068,000	0	6,084,938	
10. 担当者名及び連絡先	所属部署:宮城県環境生活部共同参画社会推進課 氏名:虎川 誠也 電話番号:022-211-2568 電子メールアドレス:danjyo@pref.miyagi.lg.jp								
11. 事業実施及び連携工程	様式4-1-1に記載								

注1)「9. 経費の内訳」の「事業番号」及び「個別事業名」は、様式4-1-2と整合性をとって記載してください。
 注2)「9. 経費の内訳」の「公募要領の取組例」は、公募要領第2【取組例】(1)～(5)、第4【取組例】(1)～(3)、第5【取組例】(1)～(9)、第6又は第7【取組例】(1)・(2)から選択してください。
 注3)「9. 経費の内訳」の「予算措置年度」は、実施主体における予算措置状況について「4年度当初予算」、「4年度補正予算」、「5年度当初予算」、「5年度補正予算」のいずれかを記載してください。
 注4)「9. 経費の内訳」の「交付決定事業」について、「4年度予算(予備費)」、「4年度補正予算」、「5年度当初予算」のいずれかを記載してください。
 注5)「9. 経費の内訳」において「他の寄付金等」がある場合は、備考欄に内容が分かるよう記載してください。
 注6)本様式はA4で3枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。